

発行人 東海大学付属望星高等学校 同窓会
Tel 03(3467)8111 下倉良次

東海大学付属望星高等学校

同窓会会報

第28号

自分探しの夢拓く、
学びの楽しい学校

校長 細野久一

二〇〇六年がスタートしました。

校長に就任し一年が過ぎようとする
今年、還暦を迎えました。生徒に恵
まれ学ぶことの多い教員生活を含め、
長いようで短い六十年でした。年齢
からでしょうか、記録的な大雪のニ
ュースに触れるたび、昨年の町村合
併で町名がなくなつた生まれ故郷の
石川県・能登（旧富来町）に思いを
馳せています。

望星高等学校は様々な変化を経験
しながら、四十七年目を迎えると
しています。

今に始まつたことではありません
が、低年齢化の進行とともに、目的
や事情に応じてさまざまな生徒が本
校に学んでいます。何らかの心のい
たみを抱えている生徒も多くなつて
います。

私たちは、本校の設立理念を継承
しつつ目的や事情はどうであれ、向
上心・学習意欲のある人に対し、広

く門戸を開いています。人は皆、等

しく、光り輝くものを有していると

等

の考え方のもと、個を基本に、人間性

等

を重んじ、人のこころのいたみがわ
かり合える心豊かな人間を育むため
の様々な教育活動を展開しています。

幸いにして、生徒は日々明るく学
校生活を送っています。挨拶やマナ
ーも良くなつてきています。多くの
生徒は「学校が楽しい」と答えてく
れます。

最近、校長として話をする機会が
あるときには、「私」であるための憲
法前文（角川書店）に収められてい
る、ある高校生のことばを紹介する
ことにしています。

夢という言葉を簡単に使うな！
叶えるには、様々な過程があると
思う。
希望がある者には希望がある。
希望がある者には計画がある。

内木文英名誉校長から伺つていた
「教育とは何かを考えさせられるし、
教育の原点がここにある」のことば
をかみ締めながら、これから教育
をどのように進めてゆけばよいのか、
日々模索しているところです。

生徒の募集環境がますます厳しく
なる中、「自分探しの夢拓く、学びの
楽しい学校」づくりに、みんなの
応援を心よりお願いします。

計画がある者には反省がある。
反省がある者は進歩がある。
進歩がある者は前進することがで
きる。
前進する者には夢がある。
夢を叶えたければ、まずは行動か
ら。

宝くじ



会長
下倉 良次

昨年十一月二日、ゴルフコンペがあつた。元気会」という名の会である。友達がやつていて「焼き鳥屋」に集まるグループだが、顔を会わせると「どう、元気かい?」と声を掛け合うことから名前がついた、と聞いている。もう定年に近い壮年の集まりである。

当日は四組十五名が集まつた。午前中のプレーを終えた時には一応トップグループにつけていた。午後も順調に進み十七番ホール、パー三のショートホールでの第一打がOBとなつた。打ち直しもOBと言う最悪の状態となつてしまつた。結局このホールで九打を費やし「万事休す」と諦めた。ところが風呂に入つて皆んなの話をして聞いていると、全体に成績が悪く、現在は二位らしい。しかも第一位の人は初参加なので資格がない、と言う。後は最終組の成績次第だ。

その後、忘年会を兼ねたパーティーで正式に優勝となつた。幹事の計らいで優勝者は「本日のプレー費は無料」となり、気持ちの良い年末を迎えることができた。スピーチを求められ「ショートホールで大たたきしたときは、もう駄目かと諦めていたが、最終ホールを頑張つてパーで納める事ができ、最後まで諦め

てはいけない事を知りました。この幸運を大切にして、年末ジャンボ宝くじを買います。

買つた。

元旦の新聞を楽しみに聞いて見た。と、下二桁が当つている。五等三〇〇円だ。更に見ていくと、もう一枚同じ番号があつた。一

瞬目を凝つてもう一度見直した、が間違いはなかつた。

今まで宝くじに当つたことはない。何時も未等だけである。「うーん、これは春から縁起が良いわい」この幸運を一日・三日の関東大学箱根駅伝で東海大学の優勝をと願つたが、そうはいかなかつた。

大学箱根駅伝で東海大学の優勝をと願つたが、そうはいかなかつた。

当日は四組十五名が集まつた。午前中のプレーを終えた時には一応トップグループにつけていた。午後も順調に進み十七番ホール、

平日コース同窓会近況便り



木暮 春弘

平日コース同窓会
副会長

初期の頃、「単位制コース同窓会」と呼ばれていた、当平日教育コース同窓会も、設立からはや十三年が経とうとしております。

また、役員数も十名余となり、ミーティングの際に行われる議論も中々熱が入るようにな

なりました。設立当初は片手の人数で出発した役員会も丁度定期に入りかけたかなと云うのが実感で、役員の年齢層も干支を一巡する構成となっております。筆者を含めた初期の役員が昭和四十九年生まれですから、ボツボツ平成交代の役員が入つてくるのかななどと思うと、いやおうなしに「年をとつた」と感ぜずにはいられません。

本部同窓会は、活動内容しかし、運営方法しかし、やはり「老舗だな」と感心していまが、我々も諸先輩方に負けぬよう日々の活動に精を出しております。

今までは、隔年おきに実施していました同窓会の開催ペースや催事を見直し、所謂「マンネリ同窓会」を脱する研究に取り掛かっています。

当案件は、筆者の後輩役員より打診があり、昨年夏よりベタッと平面構成であつた役員会を「組織化」しました。

これは、改革はまず役員からという考え方から発するものであり、某首相の言葉の受け売りではないですが、「適材適所」を当てはめました。企画はダメだけれどデータ整備はませて!という役員や、私は折衝が得意ですよ!とか、中にはどうしても企画運営をやつたように、先任者が割り振つて、采配を振つてみたいという立候補者も出る・・・といふ意味が無い訳で役員自らが責任と、自覚と、何よりもこの仕事に遣り甲斐を感じるようになれば自然と今後の方向性が見出せるよう

なりますし、先輩に「おんぶに抱っこ」状態から卒業できるようになると考へ、この方法の採用に踏み切つたところ、各員が能力を急に發揮し、ミーティングも実のあるものになつてきたかなと云うのが筆者の実感です。

また、在校生との交流を深めようと、先生方と相談し、昨年末に生徒会との第一回の交流ミーティングを実施しました。ただ、我々も初めての試み、生徒会の方も役員が入れ替わった直後ということもありましてお互いに終始コチコチになつてしまつましたが、確実に新たな第一歩を踏み出したと確信しました。

今後は定期的に在校生側と接触する回数を徐々に増やしていく、定期的に交流会が実現できるようになればということが当面の課題の一辺になります。

更には、文化祭・望星祭にも積極的に参加して、同窓会活動をアピールできればと思っております。

いずれにしても、本年が「改革元年」になる様役員一同頑張りますので、御指導、御声援の程、宜しくお願い申し上げます。



内木一ナ



名譽校長
内木文英
(ないきふみえ)

文化を創るということは

うなどよめきが起つた。

「私は八十一歳、だからまだ子供のようなもので」と私はしゃべりだした。宮本君が通訳をする。四百ほどのキャラを持つた劇場の、ほぼ満員の観客席から笑いが起つた。その笑いで私は落ち着いた。

「子供のための文化を創るということは、将来の人類の、希望と平和、そして幸福を創ることです。」

大きな拍手が起つた。

「希望」という言葉が生まれたのは、「若き日に汝の希望を星につなげ」という言葉が、私の胸の中にはいったからであろう。「望星」という言葉はいつも私の胸の中にある。

この児童青少年演劇の世界組織ができて、ちょうど四十年という記念すべき年だから、セレモニーを開きたい。日本を代表してあいさつしてほしいと、会長のウォルフガング氏（ドイツ代表）に言っていた。私は何でも頼まれると承知してしまう。カナダの大学で演劇教育の博士課程を学んでいた、千葉県出身の宮本健太郎君に通訳を頼んだ。

「話が短かったからよかつたのでしょうか」と私は言った。

「先生、先生のしゃべる言葉を聞いていて、涙がこぼれました」と、ある劇団の制作に関わっていた女性が話し掛けてくれた。

「昨年一年、一番つれしかった自慢話である。紹介されて、観客席から「ウオー」というよ

文化祭を見学して



四十期生
渡辺成美

十月三十日（日）に望星祭がありました。

今年も、AWU合同で開催されました。校舎の入口から始まつて、一階では焼き込みご飯やスープなどいろいろな食べ物を売つていたり、喫茶店があつたり、他のお店にはかわいいメイドさん達がいたり、（名和先生は相

変らず、おしるこを売つていましたよ）（笑）二階では写真部の展示などがありました。AWU合同の望星祭になつてから、どんどん活動が出てきたように思います。見学に行くだけで（いえいえ、いろんな物をいっぱい食べて）自分も、みんなのパワーをもらつたような気になります。（若返るかも！）

おいしい物をいっぱい食べたい人は、午前中から参加しましよう。午後には売り切れ続出です。お腹いっぱい食べて、懐かしい先生方とおしゃべりすれば、一時、自分も又高校生に戻れる事間違いナシです。今年の文化祭には是非卒業生のみなさんも足を運んで下さいね。



同窓会総会・懇親会報告

われらが母校にて、第四二回同窓会総会・懇親会が平成一七年六月五日に開かれた。

総会は、縞麗になつた望星高校二階教室で三十名程の会員にて行われた。当会は承認の定足数は定められないので、出席者の多数決で承認される。議長に遠藤源氏が選出され、下倉会長の挨拶並びに活動報告、担当者による決算報告・会計監査が承認され、続いて今年度の活動予定・予算案・執行部役員・その他の議案も問題なく承認された。又、今年度から着任された細野久一校長先生のご挨拶があり、その内容から望星に対する並々ならぬ意欲が感じられ、役員一同から安堵の吐息が

聞こえるようでもあった。

懇親会は、当初予定していた大学談話室が、オーブンキャンパスの為に使用できず、望星校舎二階別教室で、色気は無い場所だが手作りの飾り付けがされた、アットホームな雰囲気の中で催された。内木先生の洒脱なご挨拶にて開始され、今年度で退職される金子・高橋・鈴木・仙波の各先生、又、大阪から高輪高の副校長で着任された池渕元先生のご挨拶と続き、卒業生からは一期生の風間氏を始め、懐かしい先輩達の近況等、あちこちで話の華が咲いた。

今年のゲームは、bingoでは無く、ダーツによる豪華商品の争奪戦になつた。運だけで無く多少の腕を要するので、かなり熱くなるシーンも見られた。最後は恒例の校歌齊唱だが、歌詞カードを見るのは若い同窓生が多いような気がした。スクーリングの度に朝礼で歌い、学校行事で歌い、今では連合同窓会でも歌う私たちは、その機会も多いのだが、最近は、他校でも校歌を歌う機会は少ないと聞く。望星高校もそのような時代に入っている

のだろうと感じた。

無事に総会・懇親会と終了し、役員達は後片付けて取り掛かるのだが、参加者を歓待できた喜びと心地よい疲労感からか、それともこの後の打ち上げ会への期待からか、みんなとても良い笑顔であつた。

卒業生の皆様、学校と同窓会はいつでも温かくお迎えいたします。次回は、是非、ご参加下さい。



連合同窓会に参加して

遠 藤 源

(5)

平成十七年十二月の中頃、連合同窓会より会報の原稿依頼を受けた。書くことの苦手な私の頭の中は、とたんにパニックになった。老化した頭で、八月の出来ことなど、順を追つて書くことなど無理な話である。ただ、同窓会に参加すると熱い心がよみがえり、すがすがしい気持ちになる。同窓会には「心」がある。その「心」をお伝えできれば幸せだと思う。

これを書いている時もテレビで耐震偽装問題を報じている。被害者の方々には慰めの言葉もない。偽装をした人達は一番大切なことを忘れている。自分の仕事に対する誇りはないのか、「金」というものの中に、自分の人間としての「心」を置き忘れてしまった、哀なつてくる。

箱根では、宴会があり、かくし芸などで楽しんでいた時、私の隣に座った人が、少子化時代に自分達OBが東海大グループを、どう盛り立てていったらよいかということを、熱していた。

学校への紹介までは、普通は、なかなかで

きるものではない。でも、OBそれぞれが愛校心を持って学校を盛り立てるとは、非常に大切だと思った。それぞれが自分にできる方法で頑張ることだと考えたのである。

二次会が別室で始まり、一番盛り上がったのは石原祐次郎の「嵐を呼ぶ男」のかえ歌だった。野球、巨人軍の監督に原さんをというものだったが、「原ー。原ー。か、ん、と、くう!!」と、皆で絶唱した。私も一緒にうつて叫んでいるうちに、熱い思いが胸に満ちて、(あーみんな、東海大グループなんだなあ)としみじみ感動してしまった。

翌日、私は集金の役目をおおせつかり、集金したものを、役員さんにお渡しした時は、小さな仕事をながら、役目を終えてほっとした。

帰りのバスの中では、昨年の大学駅伝での東海大学往路優勝のテープを聞きながら、箱根の山を下った。

我が東海大は、今年も総合第六位と余裕でシード権を得て、まずは一安心というところである。

連合同窓会に参加して、参加者全員がいかに東海大グループを愛しているかということが身にしみてわかつたように思う。

そういう思いを原点にして、OBみんなが母校に恥じぬよう、日々、誠実に生きることが大切だと思う。

それには何事にも「真心」を持つて接すべきである。そしてそれが、間接的ではあっても、母校を盛り上げる大切な一助であると信じている。

第四十三回 同窓会の御案内

爽やかな五月、みずみずしい若葉の薰り、身も心も若い学生時代に戻りませんか?

内木名誉校長先生、細野校長先生はじめ懐かしい先生方や仲間たちが、今回も温かくお待ちしております。

昨年は、今迄のビンゴゲームから、ダーツゲームに変更しました。単純に運に頼らず、実力で賞品をゲットすることが出来ます。

今年も豪華賞品(?)を多数揃えて、皆様のご来場をお待ちしています。

尚、ご出席できない方もハガキにて近況をお知らせ下さい。

記

一、日時 十八年五月二十八日(日)

午後二時より懇親会

二、場所 東海大学付属望星高等学校
懇親会 総会 望星高校二階教室
懇親会 東海大学4号館
二階学食談話室

三、会費

今年度卒業生 二千円
ご夫婦での参加 五千円
三千円



望 星 便 り

新校長に細野久一先生が二〇〇五年、望星高校の第十代目の校長として赴任されました。先生は付属高校を振り出しに、浦安高校、望洋高校、また浦安高校に戻り、そして第三高校を経て望星高校に赴任されました。教職約四十年という経歴をお持ちである。

校長先生を始め、細川洋（地歴）先生が第三高校から、新津雅仁（数学）先生（静岡校）が翔洋中学から、福田尚久（数学）・佐藤修（情報）先生は浦安から、宮崎泰次先生（地歴）が相模高校から、竹本みな子先生（保健体育）が高輪台からと色々な付属校から着任されました。いま、その先生方が今まで望星高校になかった新しい風を運んでくれております。ニュー望星！

その一方で、今年度は今まで望星高校の教育に献身的に従事されてきた先生方が多数退職されました。東京校では、兒玉正校長（理科）、金子純郎副校長（数学）・野原博教頭（数学）、高橋佑吉教頭補佐（数学）・鈴木敏幸先生（国語）・仙波時重先生（数学）・大畑美香先生（英語）。また、静岡

校では伊東正喜先生（理科）。それぞれの先生が望星高校を支えてくれてきました。長い間、ありがとうございました。

また、大畑輝明先生（保健体育）がデンマーク校から、立石徹（数学）先生が翔洋高校から戻られ、また名和先生（地歴）が研修を終えられました。

その中で、斎藤均（国語）先生が、浦安高校に、今井隆友（地歴）先生が相模高校に、増井彩子（数学）先生が相模中学に、箕和則（数学）先生が翔洋高校に、浦川美紀（国語）先生が浦安高校にそれぞれ異動されました。又、三さんが初等中等課に異動されました。

原 稿 募 集

面白い会報にするには、皆様のご協力が必要です。日常の出来事や樂しかった旅の思い出など原稿の枚数は自由で結構です。（一行二〇字）

毎年十二月末日までに同窓会事務局までお預け下さい。

ご冥福をお祈りします。

◎宇田川平八郎殿（二十四期）
二〇〇五年十月二十三日ご逝去されました。

平成16年度 決算報告

東海大学付属望星高等学校同窓会

取 入		支 出	
前期繰越金	5, 436, 448円	連合会関係費	240, 000円
新会員入会金	1, 683, 000	生徒会関係費	90, 000
新会員年会費	544, 000	通信費	597, 883
総会時年会費	19, 000	会報費	440, 000
総会時寄付金	25, 000	事務局費	116, 815
局振込年会費	250, 000	総会費	125, 639
局振込寄付金	161, 000	印刷費	297, 100
利子・利息	157	交通費	154, 320
銀行振込	4, 000	会議費	10, 781
立替金(ハイドー)	357, 000	卒業記念品費	563, 902
未 収 金	(10, 000)	支部活動費	144, 000
		涉外費	131, 465
		機器整備費	127, 913
		雜費(返金)	42, 380
		(小計)	3, 082, 198
		繰 越 金	5, 397, 407
合 計	8, 479, 605円	合 計	8, 479, 605円
次期(平成16年度) 繰越金	5, 397, 407円		

上記の決算、厳正なる監査の結果、相違無い事を認めます。 平成17年5月29日

監査役 清水 庄司 (2期)、監査役 針替 幸子 (27期)

平成16年度総会・懇親会収支決算報告

平成16年6月13日 望星高校に於いて

取 入	支 出
会費 139, 000円	飲食費他 264, 639円
△125, 639円 (総会費より負担)	

平成17年度 予算案

東海大学付属望星高等学校同窓会

取 入		支 出	
前期繰越金	5, 397, 407円	連合会関係費	270, 000円
新会員入会金	1, 650, 000	生徒会関係費	100, 000
新会員年会費	550, 000	通信費	600, 000
年会費	450, 000	会報費	460, 000
雑収入(利子等)	1, 000	会事務局費	100, 000
(今年度収入小計)	2, 651, 000	総会費	130, 000
(未 収 金)	(10, 000)	印刷費	300, 000
		交際費	120, 000
		卒業記念品費	10, 000
		支部活動費	550, 000
		機器整備費	200, 000
		涉外費	100, 000
		(小計)	3, 040, 000
		雑費(繰越金)	5, 008, 407
合 計	8, 048, 407円	合 計	8, 048, 407円

平成17年度役員選出

会 長	下倉 良次 (5期)
副 会 長	漆谷 審康 (6期) 原澤 純一 (9期) 寺林 勝実 (29期) 各支部同意会支部長
書 記	田中 美帆 (28期) 締部 晃子 (38期) 高橋 謙一 (33期)
会 計	長南 友行 (7期) 櫻 麻紀 (34期)
事 務 局 長	金谷 義孝 (14期)
事務局次長	河野 義家 (34期)
◎ 会 報	畠山 勝 (16期)
◎ 広 報	須永 英典 (38期) 時田 早絵 (39期)
監 査 役	清水 庄司 (2期) 針替 幸子 (27期)